

Progress

内灘町立内灘中学校
第2学年だより NO.4
校長 小村 隆典
2年学年主任 松本 和代子
令和5年 6月30日(金)

生と性の学習会「大人に近づく日々」

先日、内灘中学校の2年生を対象に思春期講座が行われました。星の子助産院から助産師の坂谷理恵子先生をお招きし、命や性に関するお話をしていただきました。坂谷先生は長い間、内灘中学校だけでなく県内の様々な中学校で、思春期講座を行っている先生です。以前お会いする機会があり、そのときに「中学生に生と性についてしっかりと伝えるのは、私のライフワーク」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。

講演会では、そんな坂谷先生の思いが、みなさんにしっかりと伝わっていたようですね。話を聞く姿勢や、真剣な表情から、みなさんが坂谷先生の思いを受け止め、深く学んでいる様子がありました。生命の誕生、人間の生き方、家族への思い、またLGBTQについてなど、幅広い内容のお話で、非常にたくさんの学びがありました。感想文を紹介します。

講演を聞いて「性」に対する考えが変わった。

今までは少し恥ずかしいように感じていたけど本当はそれとはかけ離れたものだと分かった。また、お母さんがどれだけの苦労して僕が生まれたのかもよく理解できた。これからは感謝の気持ちを込めて手伝いなどたくさんしてあげたい。



「性」というのは命に深く関係しているということがよく分かりました。また、生命が誕生までの経緯についてもよく分かりました。今まで生命や性について考えたことはあまりありませんでしたが、今回の講演でよく考えることができた。特にLGBTQ+のことについては多様な考えがあっていいんだと心に残りました。おかげでLGBTQ+についてよく知ることができています。

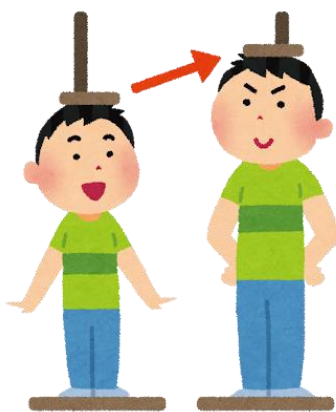
最初は少し木々かなと緊張したり、不安でしたが、先生のお話を聞いて、性は生命に関わる大切なことなんだと分かりました。今までなんとなくしか知らなかった性の知識を詳しく知ることができてよかったです。私から心に残ったのは、赤ちゃんと同じ重さの人形を抱っこする体験をしたことです。こんなに重いのかと驚いたし、何より首ぐらにやぶにやぶで怖かったです。いろんな貴重な経験をできてよかったです。



これから講演で学んだ知識を忘れずに、自分の心身も大切に生きていこうと思いました。

自分の体についてあまり分からなかったけど話を聞いて自分の体のすごさや命の大切さが分かりました。赤ちゃんを持った時、とても重いなと思いました。そして自分が生まれる前から生きていて出たい時にお腹から出るという意志があってとてもびっくりしました。

「性」について知れたし、前まで「性」として事か！はずかしい！事か！思っていたけど、とても大切な事なんだと改めてわかることができたので良かったです。誕生の仕方とか、実際にしてくれたのですごくわかりやすかったです。女子はとてもたいへんなんだと思えました。



分かりやすいお話をしてくれてありがとうございました。

思春期講座を通して、愛はパートナーシップという事やマナー、性の大切さなどがよく分かりました。実際に体験したり、ビデオを見たりできると思わなかったです。最後のビデオで妊娠がどんなに大変かより分かったので、私のお母さんとお父さん、そしておばあちゃんやおいちゃんにも感謝して、これから人生を歩んでいこうと思います。

今日、思春期講座の話を聞いてみて、これからの自分の心や体を大切にしていきたいと思いました。また、赤ちゃんを抱っこできる体験では、首もまだすわっていない状態なので首の部分を優しく持ち、足やせなかの部分に手をあてることかできました。将来に向けて勉強したいです。

